



私の平和運動の原点



熊本で「平和憲法を活かす熊本県民の会」(略称「活かす会」)が結成されて22年になります。熊本での平和市民団体として、党派にこだわらず活動しようとして申し合わせて出発したのが1996年5月でした。私も呼びかけ人の一人でした。平和運動は政党の下請けでは広がらないとの共通の思いでの出発でした。

これまで「戦争遺跡見学会」(12回)、「熊本空襲を語り継ぐ」(15回)、「学徒勤労動員を語り継ぐ」(4回)を会の独自活動として実施しています。熊本県内の平和団体などの一員として扱われるようになりしました。県内の平和団体と共同で「2・11建国記念の日を考える」、「5・3憲法記念日」、「12

・8集会・デモ」などの集会や講演会など取り組んでいます。定年退職した先輩たちも多くなり、家族での参加も増えていきます。戦争経験者が高齢化により現場からいなくなり、地域で働きかけることで体験を語ってもらっています。

私は1941年生れですから、戦争のことは、空襲で自宅の庭に掘られた防空壕に家族で避難したら、雨水が流れ込んで水浸しだったことを憶えています。いつ戦争が終わったのかも知りませんでした。平和の尊さは小さいときの体験ながら、身に沁み込んでいます。戦争だけは絶対にゆるしてはならないとの思いで活動しています。

労働大学企画編集委員 石田 博文